



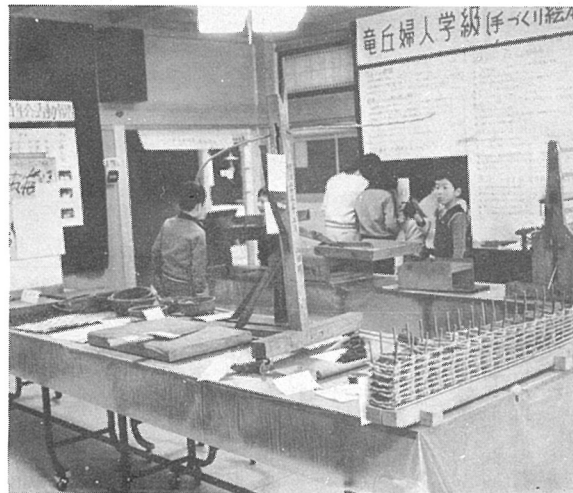
発行所 公民館
編集所 公民館
印刷所 公民館
製版所 公民館
発行人 公民館
編集長 公民館
印刷長 公民館
製版長 公民館
〒370 新飯田市
新飯田市商工館内

地域に根ざす

公民館

盛況だった文化祭

▽五十三年度、竜丘文化祭は、二月十一日、十二日両日、竜丘公民館に於いて開催された。二文化祭として、昨年同様、二年連続で目を迎えた。会場は多勢の人々で、二日間大変な賑わいであった。二文化祭は、農工商業、子供連の作品、又一年間の収穫を喜ぶ、▽こび、品評会等、一年間の労働を発表する場でもあった旧小学校、▽舎使用の時代から、一家揃って、楽しみの場として文化祭が行われ、▽来て来た。以来、農協の事業の中に、それら発表の場を移行して、▽から大筋今日の文化祭、主に公民館活動の各グループが、一年間、▽の成果を発表展示する場として、除々に定着。親しまれて来て、▽る。本年度延べにして、一、三〇〇名以上の参加を集め、大きな▽成果を上げた文化祭について、各教室を見て廻った。



文化祭展示風景

民族資料委員会

昔から盛んだった、養蚕に於ける、数々の用具を中心に展示した。メダナ、催青器、給桑器、上簇器、まぶし、毛羽取り器、繭袋等々、約十五年以前には、何処の農家でも、養蚕に、不可欠の出来なかつた用具ばかり。…中には、明治四十年頃に使われた物もあり、昔を懐かしむ老人も多かった。資料館に、管理されている物に合わせ、展示間際に、多数の用器が揃った。(新井原、関島さん)

温床、夕櫛の一部等、研修室は、趣味ある多くの人々を楽ませた。「竜丘婦人学級展」「青年会活動展」「老人学園作品展」「生花展」「ペン習字展」「書道展」「長野原婦人生活学校」等、それぞれのグループ発表は、一年間の活動を物語り、努力の成果が数多く見られる。一つの事を仲間と共に努力する事は時として、大変な苦勞を伴い、又それを成し遂げた喜びは、ひとしおと語る老人の声も張りを感じられる。「市民セミナー」の一年間十二日午前中、保健婦(古田さん)の協力で血圧測定を行った。三十名余りの人達が、自分の健康管理に関心を示した。会場の保健室には市民セミナーの一年の流りが展示された。

した会場の雰囲気、盛んな公民館活動の一面を覗かせた。「喫茶・おでん・バザーコーナー」も大変な賑わい。二日間延べ、八百名を集めた。婦人会、青年会の主催は、予想以上の来客に、てんこ盛りで接客に当たった関係者は皆張り切り、文化祭の雰囲気盛り上げる大きな役割を果たした。

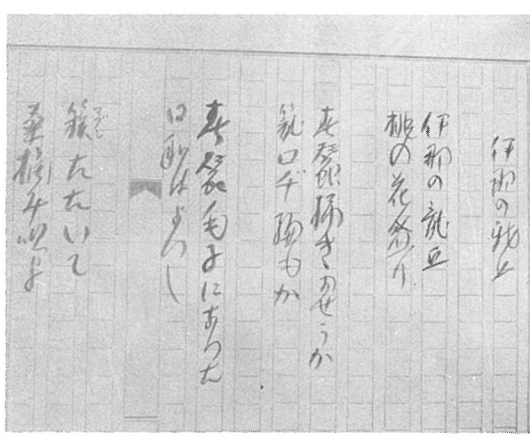
「映画会」二日目の十二日午前中大会議室で「男はつらいよ」「小さなバイキング」が上映された。この日は振替休日とあって、子供達を中心に盛況の内に映画会が行われ文化祭の全日程を終了した。

文化祭の今後…参加グループは、文化祭を目標に、連日練習に励む姿も多かった。又資料作りに取り組んだグループ、共に文化祭に参加し、お互いに他のグループを学び合った。文化祭を通じて、より一層活動の励みを増した。参観者

伊那の竜丘

野口雨情直筆の詩、贈られる

先ごろ行なわれた竜丘公民館文化祭の「私の宝物」展示会場に掲げられていた「伊那の竜丘」という詩を、野口雨情直筆の詩が贈られた。



野口雨情の直筆の原稿

野口雨情は明治三十八年に詩集「枯草」を刊して以来、詩人としての地位を築き、大正中期頃より民謡詩や童謡詩に新しい分野を拓き、大正十前後より一人で或いは作曲家中山晋平等と共に全国童謡、民謡の普及に旅行してまわられた事は有名である。

野口雨情は明治三十八年に詩集「枯草」を刊して以来、詩人としての地位を築き、大正中期頃より民謡詩や童謡詩に新しい分野を拓き、大正十前後より一人で或いは作曲家中山晋平等と共に全国童謡、民謡の普及に旅行してまわられた事は有名である。

野口雨情は竜丘を訪れたとき、そのひなびた、たずまいと蚕飼いにいそむ人情のこまやかさを賞で詩にあげたのが「伊那の竜丘」である。後に金星社版「野口雨情民謡童謡選」に収められている。

この直筆の原稿は雨情の子息野口存弥氏より昭和五十四年一月二十九日に公民館に寄贈されたものである。

新春放談会

住みよい地域づくり

竜丘公民館主催の、新春放談会が、去る一月二十一日に、竜丘公民館において開催された。婦人会、老人学園、交通安全協会等、各種団体の代表者に、松沢市長も同席し出席者の発言に耳を傾けていた。

随想リレー (110回)



高校全入の声を大きく聞かされた。ほんとうに全入にするに必要なのは、能力別学習を編成すること、その一つを取り上げてみる。二学期から本格的に、A学級は、やさしい教材、能力別学習またはグループの方法の他に、例えれば農業コースとか工業コースというコース別の方法もある。

高校全入には

上川路 笹岡秀郎

高校全入の成績は、英語で、高めの教材を進める。編成に当たっては、生徒に自らの能力・興味をふまえて、教材や計画をわかせ、自ら進んで学習する指導が求められる。この能力差をどうにかする必要がある。この能力差をどうにかする必要がある。この能力差をどうにかする必要がある。

消防詰所完成



新築なった消防詰所

去る一月末、木造二階消防詰所の参列の中で盛の消防詰所が立派に完成した。これにより、消防団員も安心して活動を開始しています。また、竜丘地区の生命が守られることになり、市民の安心が保たれます。



区民のスポーツの場に

新しい体育館

昭和十一年完成以来「講堂」と呼ばれ愛されて来た小学校の「講堂兼雨天体操場」に変わり、新しい体育館の建設工事が進められている。これは、国の景気浮揚策によるもので、十一月半ばに県より市へ学校建築の勧めがあり、教育委員会は市内で学校の老朽化の進んでいる竜丘小学校体育館を改築を計画、十二月市議会で予算付され正式決定された。思いがけない幸運に、学校関係者は勿論、地区住民も大喜びである。

講堂今昔

愛されて来た講堂は、昭和十一年十一月、一九二三年六月に投じて完成した。当時、尋常高等小学校八四三名(現在四六〇名)が学んでいた。社会産業教育として続いていた併設の実業補習学校、青年訓練所が昭和十年陸軍省との協議を経て青年学校令により統合され、九月開校した。当時二九名が学んでいた。やがて十四年義務制になり軍事教練も行なわれ戦争へと進んだ。

新体育館は、校庭南側境界より四角離れて東西に建てられる。一月より場所決定のボーリングがされ二月五日入式が行なわれ三月十五日より本館鉄筋工事が行なわれている。完成予定は六月三十日、その後現館は取壊され運動場になる。新体育館は、約一億円の予算を投じて、鉄骨丸屋根式、二階にはギャラリーが設けられる。体育室、ステージを含め八〇九・三四㎡と現在五五九㎡に比べ遙かに広くなる。パレーコートで三面、バトミントンコートで四面取れ、鉄棒、つりなわ、肋木が付けられる。他に、昇降口、器具庫、更衣室、便所、足洗場が出来、本館とは中二・七mの廊下でプール北側を通り旧体育館横から接続される。本館からは長坂組が当り、電気には新井電気、給排水に飯田ボイラー、設計監督にフールン建築事務所が当る。

注目したいのは、学校建築委員会の陳情により予定より広くなり、社会体育専用になり、地区民の社会体育に便利になる。予算外のピアノ、椅子等約三百万円は財産区山の借入により、地区産区山の借入により、地区講堂が完成した後、時代は

グループ紹介

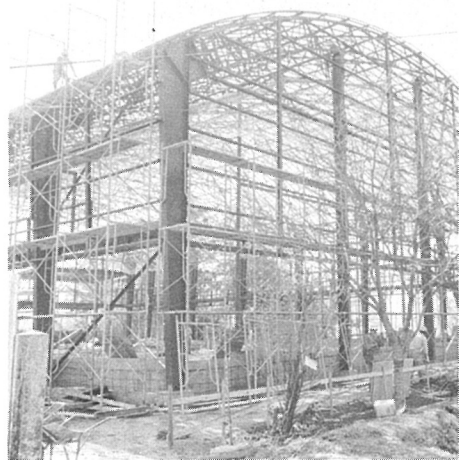
二月の公民館文化祭に行かれ、おいしいお茶を飲んでこられた方が数多くいらっしゃることだと思ふ。

心にゆとりを

竜丘お煎茶クラブ

おいしいお茶を入れるにはどうしたらよいか。又普通使うお茶にも作法があるはずだがわからない。という疑問は、どのお宅の奥さんでも持つておられると思う。その様な疑問から始められたこのグループは、現在駄科と桐林の奥さんばかり十七名で習い始めてから二年になる講師には、水の手にお住

戦争へと流れたが、新体育館が完成されてもいつまで自の場が将来の課題であるも平和でありたいと同時にう。



新築中の小学校体育館

今年も落ちこぼれ

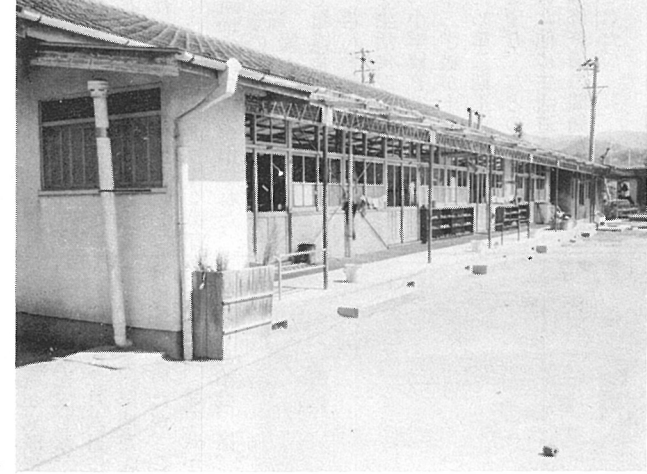
市立保育園

保育園の入園申し込み。決定がどのほど行なわれたか今年も竜丘保育園では十名を超える子供が入園出来ないこととなった。

竜丘地区の保育園は、二ヶ所である。市立保育園(桐林)定員九十九名。時又保育園定員百五十名(四月一日より増員)で二百四十九名が保育を受けることが出来る。入園出来ない結果となった。当然三才未満児保育は出来ない。

入園希望が叶えられない地区は飯田市内では三地区

(竜丘・松尾・下久堅)だけで皮肉にも緑中校区である。この児童増加現象は、年小児(五十年三月生れ)まで減少すると市では言っている。市立保育園の新設はもちろん増員を考えていない市の方針が気になる。遠距離通園の問題、上川路や駄科の平下からは園児は約一時間弱かかる、三才児が通園するのに適当かどうか。現状の中で入園を見合せた家庭も少なくないと聞く。



竜丘保育園と広場

主婦の不安(葬儀)

一冊の本に

長野原婦人学級は、四十九年度に誕生以来、学級生による自主運営と、学習日と学習日を継ぐ宿題方式による系統的な学習が根気強く続けられてきた。五十一年度より取り組んできた人生儀礼の学習が徐々に実を結び、今年の一月には、そのまとめと云うべき小冊子「人生儀礼・葬儀」を発刊するに至った。二十八頁から成るこの小冊子には、この地区のしきたりに則して葬儀に関する諸事を如何に捌いてゆけばよいか、詳細に書かれている。葬家或は同組合の主婦として直面した場合の不安から生じた学習だけに、その一から十までが解りやすくまとめられている。更には学級のあゆみや公民館関係者、講師の寄稿、学級生の感想も載せられていて、これまでの地道な学習の苦労や努力を知る事ができる。

発行部数は五〇〇部で、希望者に配られ、その批判や助言の中から、これを踏台に更に学習を進展させようとする姿勢が伺われる。

あの人

(十一月一日、三月十五日届出)

この人

市瀬いとゑ 駄科 女 八二
桶 巴 時 女 八十
原 丈 桐 女 七十
長谷部智枝 枝上 女 八二
森山 廣一 桐 男 七四
宮下 喜作 長 男 七七

75mmから100mm管に

一時又水道

現在、時又で水道工事が行なわれています。これは時又地区の水道管が布設されて二十余年、老朽化による漏水が多くなったので、新しくダクタイル鋳鉄管に取替え、合せて、今迄の七五ミリ管を百ミリ管にするための工事です。これにより、耐用年数、今後の需要に充分耐えられるようになります。

人事

飯田市役所竜丘支所

- 支所長 篠田由美 農業委員会より
- 菅沼唯一 農林課へ
- 竜丘小学校 松本芳川小学より
- 小学校長 北沢 光 校より
- 宮沢友彦 退職

あの人

◎永遠に幸あれ

- 高島 洋一 桐林
- 松平 幸恵 座光寺より
- 北沢 國昭 上久堅より
- 吉川 友子 駄科
- 桐生 文雄 桐林
- 松下保名美 鼎 町より
- 加藤 主殿 飯島町
- 牧島 愛恵 駄科より
- 佐々木高之 上郷町
- 松永八代子 駄科より
- 牛山 久男 桐林より
- 中島 智子 桐林より
- 木下 昇 駄科
- 伊藤 和博 駄科
- 熊谷百合子 千代より
- 岩崎 芳男 豊丘村より
- 塩沢 恵子 桐林
- 小林 秀男 上川路
- 榎本 光子 川路より
- 田口 和夫 時又
- 太田 孝代 千代より
- 繁沢 立巳 東京都
- 原 喜代子 桐林より
- 伊藤 辰典 長野原
- 羽生 公子 下久堅より
- 小林 伸 長野原
- 原田 俊子 座光寺より
- 宮島 政一 駒ヶ根市
- 福沢 克巳 時又より
- 宮内真智子 時又より
- 今村 善治 長野原
- 大東 佳子 松川町より

編集後記

昭和五十三年度の最後の館報をお届けします。今号より、新製版社に印刷を変更致しました。前号までの館報とは、大変印象が異なると思います。写真を多く、またスペースも大きく取りました。

題字は中田公民館長、デザインは浜島広報副委員長が担当しました。

この一年、地区内の皆様との目と目、耳と耳、口と口、館報を通じて来ましたが、地区の皆様のご意見・ご感想を公民館へお寄せ下さい。

この紙面変更は今年までの四年発行が、六回発行可能となり、また活字も大きくし、お年寄りの方にも読みやすく、皆に親しまれる館報にしたいと願っています。

館報作りに意欲のある方新委員に採用します。

T・I